



PRESS RELEASE

CFAO グループとシュタインホフがユニットランスの株式譲渡契約を完了

ユニットランスと共にカペラを B-BBEE (Broad-Based Black Economic Empowerment) 政策対応パートナーに選定

2019年11月27日 - Unitrans Motors Group (以下、ユニットランス) の発行済株式 74.9% の取得に向けた独占交渉を開始してから 8 カ月が経過し、CFAO Group (以下、CFAO) と Steinhoff Group (以下、シュタインホフ) は、この契約が決済完了を以ってクロージングを迎えたことをお知らせします。

株式の過半数を黒人が所有する南アフリカの投資グループである Kapela Holdings (以下、カペラ) は、ユニットランスの発行済株式の残り 25.1% を取得するため、シュタインホフとの株式譲渡契約を履行しました。この取引は数週間以内に完了する見込みです。

CFAO の会長兼 CEO である Richard BIELLE (リチャード・ビエル) とユニットランスの CEO である Brynn STEPHENSON (ブリン・スティーブソン) は、本日発表された共同声明で次のように述べました。「ユニットランスは、本日発展の新たな段階に入り、自動車販売セクターにおける主要企業の一つとしての戦略的な位置付けをさらに強化します。私たちは、両グループが相互に大きなメリットを得られると考えており、従業員と共にこの新しい時代を迎えられることを大変楽しみにしています。」

シュタインホフの CEO である Louis du PREEZ (ルイス・ドゥ・プリーズ) は次のように述べています。「ユニットランスのビジネスには、当社の小売ポートフォリオに含まれるその他の事業とは大きく異なる事業特性があります。今回の契約により、当社取締役会の戦略的目標である黒人経済強化政策 (Broad-Based Black Economic Empowerment: B-BBEE 政策) を推進する機会ももたらされました。当社は以前より、グループのポートフォリオの整理とバランスシートのレバレッジ解消に努めており、今回の取引完了によりその取り組みを一步前進さ

せることにもなります。取引完了をうれしく思っており、CFAO、ユニットランス経営陣、カペラのそれぞれの事業の成功を祈っています。」

ユニットランスは、南アフリカにおける大手自動車ディーラーグループの一つで、99 社のディーラーを傘下に擁し、幅広い自動車ブランドを取り扱っていると同時に、保険事業およびレンタカー事業も展開しています。従業員数は 6,000 人以上で、昨年度の売上高は 15 億ユーロ(約 1,850 億円)を誇ります。同社は間もなく CFAO Motors に社名変更されます。